



大阪歯科大学

# 兵庫県同窓会報

2000年度

58

## も く じ

21世紀の明日に向かって……中塚会長……………	1
第42回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会……………	2
平成11年度定時総会……………	4
学術講演会……………	6
分会・支部だより……………	7
クラス会だより……………	11

## 『21世紀の明日に向かって』



大阪歯科大学  
兵庫県同窓会会長

中 塚 裕

私たちの人生そのものでありました20世紀が、ついにその幕を閉じようとしています。脳裏に去来する20世紀の思い出をひとつひとつ胸に刻みながら、新しい世紀を迎える心のウォーミングアップを開始したいと思います。

我が母校である大阪歯科大学も創立以来90年近くが経過し、この伝統の中で育まれた多くの卒業生を日本全国に輩出しております。先日もある会合に出張しました折り、30年ぶりの級友に偶然出会いました。風貌は当然変わっていましたが、お互いを確認しあった瞬間、あのキャンパスで熱く語りあっていた学生時代にタイムスリップしておりました。このように何歳になっても共に青春時代の真ん中に戻ることができる学友こそ、人生における最高の宝ものではないでしょうか。同窓会は常にそれをバックアップし、いつでも帰ることができる「心のふるさと」でなくてはなりません。この同窓会の原点を21世紀に伝えていきたいと思ひます。

日本は今、未曾有の経済不況の中で混沌とし

ており、歯科界におきましても平成9年に施行された健保法改正以来の著しい受診率の低下や国民医療費のシェアの低下、またそれらの大きな原因のひとつであるともいわれる歯科医師需給問題等、私たちを取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。つまり歯科界においては、経済の基本原理である需要と供給のバランスが崩れかけており、極めて危機的状況にあると言っても過言ではありません。

今こそ会員おひとりおひとりが、この重大な局面に対して真正面から真剣に取り組まなければならない時が来ています。会員のすべての英知を結集しながら、日本歯科医師会を頂点とする歯科医師会組織の縦の糸と同窓会組織の横の糸に、すべての会員の声が織り込まれた時、歯科界にも希望に満ち溢れた21世紀の輝かしい明日がきつと訪れることと確信いたします。

先生方のさらなるご支援とご協力を心からお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

# 第42回 大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会



「歯科医学の研鑽、歯科医療の発展のために協力していきたい」と語る中塚会長

第42回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会並びに新卒業生会員歓迎会が、平成12年8月26日（土）新神戸オリエンタルホテル「真珠の間」に380人の同窓会員が参加して開かれた。今回は、当番として丹波・但馬分会が運営にあたった。大会には村上勝大歯同窓会長、佐川寛典大歯大理事長・学長、近府県同窓会代表並びに県下各大学同窓・校友会代表をはじめ、多数の来賓を招き、和やかなうちにも厳粛に開催された。懇親会ではデキシールランドジャズの軽快なリズムをバックに同窓の絆を深めた。

会員大会は、橋本猛伸専務理事の司会で、嘉ノ海昭吾副会長の開会のあいさつで始まった。中塚裕会長があいさつで次のように述べた。

## 《あいさつ要旨》

本日は猛暑の中、多数のご来賓をはじめ、先生方の出席を得ることができ、感謝いたします。また、新卒の先生方もご出席下さりありがとうございます。同窓生が相集い、情報の交流をはかりながら親睦を深めていただきたい。母校の学術的基盤の上に立ち、歯科医学の研鑽、歯科医療の発展のために協力していきたい。日歯において、昨年は医科歯科格差是正に明け暮れた。兵庫県では学校歯科医報酬問題がある。貝原県知事と話し合い、来年2月には医科と同等の扱いとなる見通しとなった。その際には、

本年4月に遡って支給されるものと思われる。これもひとえに同窓・校友会の先生方のご協力の賜物と感謝する。井堂日歯常務からの連絡によると、中医協でのパラジウム問題で1gあたり510円から651円にアップした。10月1日から施行される。今後とも先生方のご協力をお願いしたい。

続いて小島康二常任理事が来賓を紹介した後、来賓が祝辞を述べた。村上勝同窓会長は、「奥野前会長は名誉会長にご就任いただき、ご指導願っている。中塚会長は優秀で温厚かつ信念の人である。今後とも同窓会のためにご尽力賜りたい。多くの問題を抱える昨今、母校の発展を助けるのが我々同窓生の役割である。特に



国家試験においては大変厳しい結果であった。この時期に同窓会としてどのような形で力を発揮できるか考えていただきたい。歯科医療の質を高め、歯科医師の資質を高めるのが第一義である。樟葉には新学舎が建ち、天満橋には設備の整った病院があり、佐川学長をはじめ優秀な教育スタッフが多くおられ、環境は万全である。あとは、先生方より一層のご助力を期待している。今後とも同窓会のためにお力添えをいただきたい」と述べた。続いて佐川寛典大歯大理事長・学長が「素晴らしい総会に招かれ、大変嬉しく思う。東灘区に住んでいた私にとり兵庫県は第二のふるさとである。当時、お世話になった先生方に心からお礼を申し上げたい。震災で大変な目に合われたが、見事に復興され、兵庫県の先生方の力強さに感動している。大学は今、大変な時である。国家試験の結果が芳しくなく、最高責任者として責任を感じている。8月31日で退任するが、9月から古跡養之眞先生が新体制を作られる。私も微力ながらお手伝いしたい。ご心配をおかけしているが、この時こそ先生方の力強いご支援を賜りたい。来年6月には大学創立90周年の記念式典が開催される。先輩の築かれた功績を傷つけることなく、また、新しい夢をさらにふくらませる様努力したい。他大学はバブル期に経済状況が大きく変化した。大歯大は一円の借金もなく、最優秀の大学であると言える。これもひとえに先生方のお力添えのおかげである」とあいさつした。続いて、近府県同窓会を代表して三谷卓大阪府同窓会会長が、県下各大学同窓会校友会を代表して佐多進神奈川歯科大同窓会会長が祝辞を述べた。ついで、13人の新卒業生が紹介され、中塚会長から記念品が贈呈され、代表の村上国久君



謝辞を述べる卒業生代表



楽しく談笑のひと時

が「暗中模索している私たちに諸先輩のご指導をお願いしたい」と謝辞を述べた。その後、当番分会の芦澤修丹波・但馬分会長が「残暑厳しい中、多数のご来賓、先生方がお集まり下さりありがとうございます。鋭意準備したが、先生方の意にそぐわぬこともあると思うが、同窓のよしみでお許し頂きたい。楽しいひと時をお過ごしいただきたい」とあいさつし、次期担当分会の糸田英俊淡路分会会長が、「20世紀最後の大会にふさわしく盛大に開催されている。来年は京都で全国大会が開催され、兵庫県大会は2002年になる。21世紀最初のこの大会にできるだけ多くの先生方のご出席を賜りたい」と述べた。白岡顕常任理事が祝電披露をした後、今井章先生の指揮により出席者全員で学歌を斉唱した。天方孝彦副会長が閉会のことばを述べて、会は閉会した。その後、会場を移して懇親会が開かれ、各学年毎のテーブルに旧友と語り合う和やかな姿がみられた。また、「デキシーギャング」によるデキシーランドジャズのリズムに参加者全員が盛り上がり、にぎやかなひと時を過ごした。河原忍実行委員の閉会のことばで会員大会を終えた。



「デキシーギャング」による軽快な演奏

# 傷病見舞金の見直しを協議

平成11年度定時総会

大阪歯科大学兵庫県同窓会では、平成12年4月15日（土）午後4時から兵庫県歯科医師会館5階ホールで平成11年度定時総会を開催し、平成11年度収支決算に関する件など4議案を可決承認した。また第42回会員大会に多数の参加の呼びかけがあり、今後の傷病見舞金の取扱いについての説明が行われた。



あいさつで大歯本部総会及び兵庫代議員会報告を述べる中塚会長

総会は、橋本専務の司会で始まり大矢副会長の開会の辞のあと、三坂副会長が議長に選出された。

続いて議事録署名人に田村忠昭（垂水区）、西山彰（須磨区）の両氏が指名された後、中塚会長が大要、次のようなあいさつを行った。

## 《中塚会長あいさつ要旨》

3月25日に大阪歯科大学本部の総会が開催された席上、6期13年間全国の同窓会長をされていた奥野喜一会長の今期限りで勇退が発表された。次期会長に京都府の日歯副会長の村上勝

先生が満場一致で就任された。また監事に兵庫県の小坂修先生、大阪の木村慎一郎先生のお二人が選出され、新しい大歯本部の執行部が決まった。兵庫県においても3年前、兵庫の八会の縮小、リストラを公約しておりましたが、幸いにも先般の会長選挙で温かいご支援を得まして再選をさせていただいた。その結果、改革がいきよに前に進むことになった。3月25日の通常代議員会において八会の整合に対する全ての規約が可決承認され、4月から新しくスタートした。簡単に申しますと、先生方の福利厚生を担当しております協同組合、共済会を1つに

統合しました。役員数は30名が15名になった。また共済会は支部長会（郡市区会長会）と代議員会の制度がありましたが、代議員会を廃止して支部長会を議決機関としました。青色申告会、学校歯科医会の2つを従来どおり本会の中に収集させていただいた。また評議員会も廃止しました。

また、国保組合、連盟、学院の役員数の減数をお願いしているところです。役員数130名が84名になりました。また常任委員会が14の委員会と1つの調査室を、11の常任委員会と1つの調査室に改革しました。これまで公衆衛生関係では5つの委員会がありましたが、学校歯科医会を本会に吸収しまして、新たに学校歯科保健委員会を新設した。これを含めて3つの委員会にした。

組織が縮小、役員数が減ったことで、サービスが低下しては何もならない。一昨日には全委員の先生方に、先週の土曜日には全役員の先生方に集まっていただき、そのお話を申し上げました。従来より、サービスが低下することは一切ございません。先生方にご理解いただきたいと思えます。この3年の任期のあいだでは時代にそぐわないもの、会員のニーズに合っていないものなどは積極的に見直していきたい。足下から見つめ直して、この3年間21世紀に向かって新しい方向を目指したい。兵庫県歯科医師会約3,000名の中、大歯同窓会の先生方は1,490名いらっしゃいます。歯科医師会の運営につきまして、ご支援いただきたい。

会長あいさつに続いて、本年度学位受領者2人のうち、この日出席した米田修氏（中央区）に中塚会長から表彰状と記念品が手渡された。

なお、もう一人は坂口雄一氏（垂水区）である。

次に、物故会員に対して弔意黙祷が行われたあと報告に移った。

報告では、橋本専務が会務報告を、西海常任理事が会計報告を、橋本専務が本部報告を、それぞれ資料をもとに詳しく行った。

引き続き議事に入ったが、第1号議案 平

成11年度収支決算に関する件が上程され、西田真和監事が監査報告を行った後、採決、全員異議なく可決承認された。

次いで、第2号議案 平成12年度事業計画に関する件、第3号議案 平成12年度収支予算に関する件、第4号議案 会費の額及び徴収方法の3議案が一括上程されたが議事承認された。

協議では、第42回会員大会について、橋本専務が丹波・但馬両分会の当番で8月26日（土）、新神戸オリエンタルで開催されることを紹介し、会員の多数の参加を呼びかけた。また西海常任理事が傷病見舞金について、①見舞金は兵歯広報に掲載されている共済会の傷病見舞金受給者の名簿をもとに給付しているが、平成11年10月から長期療養見舞金が3年で打ち切りとなり名簿に載らなくなるため、それ以上休業されている先生の名前が判らなくなる。②規則には「会員の1カ月以上の傷病に対しては見舞金として2万円を送る」とあるだけで、また、年金と見舞金の区別を明確にすべきであるという意見も多いと提案理由を説明し、本年度からすぐに変更するわけではないが、改革案として、①支部長あるいは本人から申請してもらう、②一病名1回の入院に限り1回の見舞金を給付する。その場合は見舞金の額を引き上げるなど、いろいろと方策を検討中であるとし、傷病見舞金の今後のあり方について会員の意見を求めた。

最後に天方副会長の閉会の辞で総会は終了した。

# 予知性の高い 補綴治療を求めて



「明日からの臨床に役立てて欲しい」と  
あいさつする天方副会長

## 大阪歯科大学兵庫県同窓会 学術講演会

大阪歯科大学兵庫県同窓会は、学術講演会を2月5日（土）午後3時から兵衛会館4階会議室で開催した。住民への健康志向がますます強まる中、21世紀への架け橋のY2K年に、口腔内環境保全が健康の大きなパラメーターを示すことが認識されつつある現在、まさに当を得た研修会であり、予定された時間を1時間も超過したが約100人の参加者は熱心に聴講した。

講演会は佐藤常任理事の司会で進み、大学関係会議で欠席した中塚会長にかわり天方副会長が「本日はJ I A D Sを主催している中村公雄先生に登場していただいた。この講演が先生がたの明日からの臨床の一助となることを期待している」とあいさつしたあと、早速、講演に移った。

中村公雄先生は昭和59年4月に小野善弘先生と共に「O-Nデンタルクリニック」を大阪市で開院し昭和63年4月からはThe Japan Institute of Advanced Dental Studies (J I A D S)を開講している。本日は「予知性の高い補綴治療を求めて」一歯周治療をふまえた補綴治療と題して2時間30分にわたり講演した。

内容は補綴物が患者の生涯を通じて健全に保持されることは考えにくい、臨床でやり直しの補綴治療があまりにも多すぎる。補綴物の永続性は支台歯の歯周組織が健全に維持され、歯自体が良好な状態を保持し、また異常な力が加わらないこと、そして補綴物自体の破損が起らないことなどによって得られる。それにはより精密な検査と正確な診断により、効率よく一

つひとつのステップをクリアする。すなわち、清掃しやすい、メンテナンスしやすい補綴物を製作することが患者のためになる。

そこで、患者のニーズに敏感になり、自分の仕事に対して常に注意を払いつつ、結果に満足することなく常にこれでよいのかと見直ししながら、より多くの知識を吸収していくことが大切であると強調した。

歯周組織の改善に立脚した予知性の高い補綴物とはと問いかげ、多くのスライド症例を駆使して、中村先生の考え方を披露した。

最後に大矢副会長が謝辞を述べ、講演会は予定された1時間30分を1時間近く超過して終了した。





## 神戸分会

平成11年度大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会総会が、平成12年7月27日（木）午後7時から兵庫県歯科医師会2階会議室で開催された。

総会は、岡田太郎副会長の開会の辞で始まり住谷幸雄分会長が「昨年の41回会員大会が、先生方のお力添えにより無事に終えたことに対してお礼を申し上げる。この8月26日の42回会員大会に対しても神戸分会として協力し、先生方のご参加をよろしくお願い致します。神戸分会は584名の一番大きな所帯であり、会務の運営に努力していきたい。今後、学術と懇親会をドッキングしたものを考えている」とあいさつした。

このあと、司会の浜田邦夫理事が来賓の中塚裕兵庫県同窓会会長、橋本猛伸同専務理事の紹介を行なったあと、中塚裕兵庫県同窓会会長が「奥野喜一大阪歯科大学同窓会会長が勇退され村上勝先生が推挙され満場一致で次期会長に決まった。また、次期学長に古跡養之眞教授が9月1日に就任されることになった。兵庫県においては支部の活性化をはかるために、一人につき2,000円の助成金を出す」とあいさつされた。議長に豊川輝久氏（灘区）が選出され、議事録署名人に板倉紘一（垂水区）、西山彰（須磨区）の両名を指名。報告事項に移り、会務報告に先立ち平成11年5月以降に亡くなられた10名の先生方に対して黙祷をささげた。林繁男理事が会務報告を、溝井啓泰理事が会計報告を、飯田浩司兵庫県同窓会副会長が同窓会本部報告を行なったあと議事に入った。

## 議 事

### 第1号議案 平成11年度収支決算

収入合計	3,729,192円
支出合計	462,065円
繰越金	3,267,127円

ここで川口豊監事から監査報告。

### 第2号議案 平成12年度事業計画

会則の第3章の事業計画にそって施行。

### 第3号議案 平成12年度収支予算

収支合計	4,367,127円
支出合計	1,100,000円
次年度繰越金	3,267,127円

### 第4号議案 平成12年度会費及び徴収

会員一人につき年間2,000円を10月に会員から特に希望のない限り、兵庫県社保基金より支払われる診療報酬より徴収する。

### 第5号議案 会則の一部改正

会則の第3章事業の中に会員の研修、第4章役員の中に相談役を若干名置く、また名誉分会長の新設、第7章弔慰のところでは会員死亡に対して弔慰金（1万円）を贈ることとする。

### 第6号議案 役員改選

選考委員3名を選出し住谷幸雄分会長、川口豊監事の留任と、浜田邦夫氏の監事選出。

以上6議案が上程され、提案理由説明のあと、いずれも賛成多数で可決承認された。

続いて協議事項にうつり、林理事より分会の運営について

- ・福祉と親睦に力を入れていきたい。2年に1回学術と懇親会を計画中である。
- ・12年度には会員名簿と会則を作成する。
- ・弔慰に関しては11支部長に速やかに連絡していただきたい。もし連絡がとれない場合は、住谷分会長か溝井会計理事に連絡して下さい。

以上の協議事項を終えたのち、奥田健副分会長の閉会の辞で総会の幕を閉じた。

（住谷幸雄 記）

## 東灘支部

平成12年の総会を去る7月29日(土)に兵庫県歯科医師会館で開催いたしました。会員皆様方の暖かいお心のこもったご意見を数多くいただき、各議案、会計報告を満場一致で了承していただきました。来年度の総会時には発展的思想のもとに何か講演会のようなものを併催したいと計画を練っております。どうぞご協力くださいませ、ご期待ください。

## 会員投稿 メダカ

今年の8月は本当に暑かった。以前の記憶だと気温が30℃を超えることはそうそうなく、そのような日、大人たちは行き会う人ごとに「今日はえらく暑いことで…」とか「ほんまに、油照りで…」といってるうちに太陽は西に沈み、夕闇と共に、どこからか涼風が吹くのが常であった。しかし近年、特に今夏はそのようなことはなく、朝からずーっと次の朝まで、いやいやこの夏中、涼風が吹き抜けることはなく、ずーっと暑かったです。

戸外は白く乾ききり、アスファルトの道はくらくらと目まいがするような昼下がり、患者さんから涼しげな贈り物をいただきました。メダカです。

「あんまり暑いから、これちょっと待合室に置いといたら、涼しそうやとおもて…」

ジャムの瓶を少し大きくしたようなガラス瓶にきれいな小石と金魚藻とメダカが5匹入っています。ガラスの湾曲と水のためメダカは大きく見えます。背びれと尾びれのつけ根が朱色で体側が黒と銀でおしゃれメダカです。灼熱の戸外から、エアコンの効いた待合室に入り、ほっとされた患者さんは、次にメダカの小瓶を見られて、顔がほころびます。メダカはホント涼しげで可愛いのです。私も見ていて飽きません。

判ったことがひとつ。メダカは暗いとどうやら餌を食べないみたいです。1日の診療の終わりに餌をやって、すぐに待合室の電気を消すと、さっと底の方に沈んで寝る体勢になるので、これはいけないと再び電気をつけると、浮かび上がってきて餌を食べ始めるのです。そんな

訳でメダカの食事が終わるまで、お付き合い。水道の水だと可哀相ですから、早朝の犬の散歩の時に山のわき水を汲みに行きます。なかなかめんどろだけけれど、心が和むし、歩くので、私の健康のためには、メダカ君、役立っていますね。(しかし、この文が皆様の目に触れる頃は、寒くなっていて、誰もメダカなんか見ないかも。とても寒そうで…)

(太田くみ 記)

## 北 支部

神戸分会北支部長を、昨年度の春に引き継ぎはしたものの、地方会の次期執行部人事などの雑務に追われ、一年が脱兎の如く過ぎ去ってしまいました。

さらに言い訳は続きますが、この春からは私自身が会長に選任され、県歯・神歯の公用までが重なり未だに一度も支部会を開催していないのが実情です。

しかし「時の流れ」を見てみると、地方会においても大歯大の新入会員がほとんど無いのが現状なので、支部における約40名の一致団結が、今こそ重要な時代と思われるます。

過日の「大歯大神戸分会総会」時にも、会費未徴収の問題が協議されていましたが、我々の小人数の支部に於ても支部会費の徴収が徹底できないようで、会計担当は頭を悩ましているようです。

また、会合開催などの集合時間においても、多種雑多な意見があり、現代の歯科医業の有り方をも考えさせられるものです。

何とか会員先生方の予定を調整していただいて、出来れば「忘年会」としてでも機会を持ちたいと、支部長として願望している今日この頃です。

(濱野正和 記)

## 尼崎分会

会員の皆様方、如何お過ごしでしょうか。尼崎分会では、水野康朗分会長の留任が決まりました。平成12年1月13日の役員会での推薦を受け、2月19日の総会で承認されたもので、平成8年からの3期目となります。役員は若干異動があり若くなりましたが、今迄通り同窓会の主旨のもと、融和をはかり微力ながら本会に協力していく所存でございます。

去る8月26日に行われました兵庫県同窓会第42回会員大会には41名が登録参加いたしました。

また当分会では毎年2年の総会と会員・家族レクリエーション、学術講演会及び懇親会を行っておりますが、本年度は10月21日に宝塚の「武田尾温泉」にて総会及び会員・家族レクリエーションを開催することになっております。

現在、会員数162名の尼崎分会、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(松田哲一 記)

## 西宮分会

平成11年度定時総会と学術講演会、会員大会

平成11年度定時総会、学術講演会及び懇親会が平成12年6月17日(土)に開催された。定時総会では、平成11年度の事業、収支決算報告、

平成12年度の事業計画及び収支予算、また役員任期満了に伴い、会長選出に関する件、監事選出に関する件が上程され、会長には引き続き宮崎晴吾先生が、監事には、左海迪夫先生、長島興亜先生が選出され、全議案において、満場一致で可決承認された。その後の学術講演会では、大阪歯科大学放射線学講師の古跡孝和先生をお招きして、「顎、口腔領域の画像診断」というテーマで、日常臨床に直結した、有意義なご講演をいただいた。引き続き場所を甲子園都ホテルに移し懇親会を開催し、吉本興業所属の若手女性歌手、山内年代さんの華麗なステージを見ながら、ホテルの料理を賞味した後、豪華賞品が当たるピンゴゲーム等で約2時間大いに盛り上がりました。また9月15日「敬老の日」には満70歳以上の先生方にはお祝いを贈呈致しました。当分会では、兵庫県同窓会との連携を保ちつつ、会員相互の「和」をモットーに引き続き執行してゆく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

(親里嘉之 記)

## 摂津分会

平成12年5月27日、伊丹第一ホテルにて、伊丹支部当番により、総会が開催されました。

専務理事坪井新一先生の司会により進行され、分会長井上典丈先生のあいさつ、辰己佑先生、谷茂樹先生、江見基道先生の霊に黙祷して



摂津分会

ご冥福を祈りました。

以下の事が報告されました。

#### 会務報告

(総会) 平成11年7月3日 伊丹第一ホテル

(講演会) 平成11年7月3日 身近な法律の話

(役員会) 平成11年3月5日

伊丹市歯科医師会館

平成12年3月31日 伊丹第一ホテル

会員現況 (平成11年3月31日現在)

芦屋支部34名、川西支部29名

宝塚支部63名、伊丹支部39名

計165名

平成12年度事業計画

#### 1. 会員の学術研修に関する事項

2. 会員の福祉共済に関する事項

3. 慶弔に関する事項

4. 各歯科大学同窓会、校友会との親睦に関する事項

5. 渉外に関する事項

6. その他目的達成のために必要な事項

会計報告

その後、懇親会が行われ、老若和やかに学生時代の思い出に花を咲かせ時間の過ぎるのも忘れ盃を重ねた。

最後に次期当番、芦屋支部支部長若林益郎先生よりあいさつの言葉があり、閉会されました。

(橋本義尚 記)

お知らせ

## 大阪歯科大学同窓会学術講演会

下記の日程で大阪歯科大学兵庫県同窓会学術講演会を開催致します。

日時 平成13年2月14日(土) 午後3時～4時30分  
場所 兵庫県歯科医師会館  
演題 顎関節症の診断と治療の最前線  
講師 大阪歯科大学口腔外科第2講座 教授 寛道健一治  
主催 大阪歯科大学兵庫県同窓会

### <演題抄録>

従来、顎関節症の診断と治療については、口腔外科、補綴科、矯正歯科、小児歯科のそれぞれの領域でばらばらに行われてきました。しかし、症型分類系統診断法の確立、MRI検査、関節鏡検査、パンピングマニピュレーション、関節腔内注入療法、顎関節鏡視下手術など最近の顎関節症に対する診断と治療の進歩には著しいものがあり、その成果は一般臨床の中に急速に組み込まれつつあるといっても過言ではありません。そのために一つの統一した基盤の上に立って、診療と治療が行われなければならない時期にきています。臨床医にとっては、的確な診断と、それにつづく治療方針の決定が顎関節症患者の治療を行う上で必要不可欠な問題といえます。本講演では一次治療(可逆的治療)に焦点を絞って、そこに至るみちすじと、考え方、さらには一次医療機関における一般臨床医のとり扱う範囲と専門医療機関との連携について述べたいと思います。

★この講演会は大阪歯科大学同窓会会員以外の先生がたも自由に聴講下さい。

(生涯研修カードを持参下さい)





## 専18回 聚蜂会

今年の夏は雨少なく、うだるような猛暑の連続でした。漸く新秋の涼が心地よく次第にしのぎやすくなって参りました。皆様には、いかがお暮らしですか。

聚蜂会（昭和13年卒業）の今回の例会及び京都御所参観を兼ねた懇親会は、京都の滝野君と大阪の大崎君、古跡君、山本君のお世話により、去る4月7日・8日の両日の一泊予定として京都平安会館で開催されました。

昨年、開かれなかったためか遠方からも懐かしい会員と同伴の奥様方を含む13名（写真）が参集。春光に木々の緑が映える庭園での散策、絶え間ない談笑、池の辺で手を繋ぎ合つての写真撮影など、旧友ならではの睦まじい風景です。やがて夕食の宴席に入り、謹んで物故会員に黙祷を捧げ、乾杯の後、家族的雰囲気なのか、互いに酒を酌み交わしつつ母校の現状報告、続いて一人ひとり老境試練の話に耳を傾け、夜の更けるのも忘れ、歓談が果てなく続く……………。

翌日の朝食後には随時自由解散となりました。今会合の往路は、京都周辺の土地に詳しい芦屋の溝井君と奥様とで、予め約束の大阪、阪急梅田駅で待ち合わせ案内していただきましたが、帰路は、二人同室で宿泊した神埼郡の大塚君と一緒に行動する事とし、京都御所参観と清水寺参詣に決め、早速出発しました。京都市民の憩いの場として親しまれている広大な敷地の京都御苑。その中心で築地屏に囲まれている平安京の内裏を再現した京都御所。正殿の紫宸殿、

清涼殿や小御所、御学問所の建物が整然として並び、松と杉の色濃く落ち着いた風情が印象的でした。烏丸中立売から車で清水寺へと飛ばしました。道の両側に茶店風の店がひしめき雑踏する清水坂の参道を、幾度か休憩しながらゆっくり歩き、やっと上りきって仁王門を通り抜け境内へと入れば観光客で賑わう本堂は、有名な「清水の舞台」でもあり断崖上に数多くの太い束柱と、貫を縦横に通した造りで、市街の景色が一望でき、櫻に三重の塔が実に鮮やかでした。

予定の行程を劳り合いながら総てこなし、新しい京都駅ビルの巨大施設に驚嘆しつつ、JR伊勢丹のレストランで夕食をとり、疲れをほぐしました。帰途につく新快速列車内では、大病を克服した互いの体験談や、老体の暮らし方など話し合っているうちに明石駅となり、旧友の健康と幸せを祈り再会を約束して別れました。

険しい道には起伏があつて人間性を深めてくれます。「この世は、私の花を咲かせに来たところ、この世は、あなたの花を咲かせに来たところ」という人生名句がありますが、私たちは困難に耐え人に支えられ明るい心によって、一層輝きを増すものと言われます。

唯一人しかいない自分。唯一度しかない一生です。人の哀しみを自分の哀しみとし、人の喜びを我が心の喜びとして感謝の念に厚い人でありたいと願っています。互いにしっかり手を繋ぎ合いながら……………。

（湊 信一 記）



専18回 聚蜂会

## 専21回 天作会

昨年前号で、岐阜の亀谷明君のご逝去を報告しましたが、その後亀谷君の奥様から手紙を頂きまして、天作会の皆様にもお伝え下さいと記されておりましたのでその一部を抜粋してご報告します。『亡夫は4月9日吐血即入院、点滴、胃潰瘍手術、心筋梗塞とその後すっかり衰弱しました。そのため院内感染(MRSA)になり一日と悪くなって参りました。8月17日午後10時16分あの世へと旅立って逝ってしまいました。死亡診断書には、「敗血症」と書かれていました。』(原文のまま) 家族としては何か心に残るものがありと推察します。

その後、11年11月21日高知県の米花明太郎君が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて兵庫県ですが、20名近くいたのが現在は京都から戻って来た大塚賢司君をいれて6名になってしまいました。稲垣君、タバコを止められてから食欲が出て、11kg体重が増え服がみな合わなくなったそうです。時間的に酸素吸入をしています。黒坂君、今年の1月から隠居生活に入りましたが、体は元気だそうです。京都には同伴で出席出来るとの事。越村君、現役で頑張っています。体は元気です。武田君、現役で張り切っています。今年の天作会は、奥様と一緒に出席するそうです。西田君、低血圧で20歩も歩けないとの事。脳貧血で、血圧は上が70くらい、もう治療はやっていないとの事です。大塚君は元気で、専ら百姓仕事をやっているそうです。天作会本年度総会は、京都で10月20日に開催されますので奮ってご参加下さい。

(小寺長蔵 記)

## 専23回

炎暑の今夏、あいついで浮田、角田の両旧友の逝去の報に接し、謹んでここに両君を偲び哀悼の意を捧げます。

故 浮田 豊先生

平成12年7月26日没

略 歴

昭和17年9月 大阪歯科医専卒業  
10月 臨時徴収兵として陸軍入隊  
19年7月 陸軍少尉(幹部候補生)  
38年12月 学位(医学博士) <京都大学>  
50年4月 石川県歯科医師会長  
55年4月 日本歯科医師会理事  
同 大阪歯科大学講師  
60年4月 石川県調停協会副会長  
平成2年10月 石川県収用委員会会長  
4年4月 叙勲 勲4等瑞宝章

故 角田豊作先生

平成12年8月6日没

略 歴

昭和17年9月 大阪歯科医専卒業  
10月 同 副手(口腔外科)  
20年4月 海軍歯科医見習尉官  
21年11月 大阪歯科医専助手  
34年3月 同 助教授  
45年3月 大阪歯科大学教授  
5月 城西歯科大学教授  
(口腔外科第一講座)  
同 大学院教授  
54年4月 城西歯科大学付属病院長  
平成元年4月 明海大学歯学部名誉教授  
9年4月 叙勲 勲4等旭日小綬章  
剣道五段 錬士(日本剣道連盟)



浮田 豊君



角田豊作君

なお専23回旧友 故浮田、角田両先生のご冥福をいのり漢詩に託し哀悼の意をつたえてこられましたので、皆様にも紹介申し上げます。

「盛夏惜別辞」

今年熱風襲列島  
酷暑酷寒苛老骨  
同窓相次黄泉旅  
今我何以慰寂寥  
現世一瞬閃光間  
祈念靈界快適道

(藤井一雄 記)

専26回

中間報告

この稿がお目にとまる頃には神戸で開催の平成12年度大阪歯科大学二六会の総会はまだ終わっていないことと思う。従って諸報告は総会の席上で行う予定ですので現時点での中間報告という事になります。

去る9月5日本年の第55回総会案内状を発送したがその総数97通ありました。卒業時の172名(同窓会名簿による)あった同級生も約半数になったという事実、やはり55年の歳月の長さを感じます。9月末現在その97通のうち、出席の返事が帰って来たのが僅かに15通、欠席の知らせをくれたのが30通、そして届先に居住せずと



専26回 平成12年4月1日  
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル  
桃花春にて

か、不明とかで返送されてきたのが5通あり、あとは全くウンともスンとも反応なしという状態で何とももの悲しい。欠席の返事の内大部分の人が消息を書いているが、欠席の理由はすべて病気のためとあり、歳やナーと思われ知らされています。

兵庫県の諸君は今のところ皆元気の様で結構ですが、今年の夏は格別暑さが厳しかった上に、長々と続いたので体調如何と気にしています。去る4月1日に兵庫の二六会を開催し、今回の全国総会の準備について協議をしてもらったが、出席者は例によっていつもの6名(写真参照)の面々、10月21日(土)の全国総会にはもう少し兵庫の二六会員が出席してくれるものと期待している9月末の現状です。神戸メリケンパークオリエンタルホテルでの再開を楽しみに。

(田村 正 記)

専27回 牧陵会

今夏より例年になく猛暑が続いておりますが、皆様この暑さに負けずにお過ごしのことと推察いたします。昨年の牧陵会は京都、滋賀の方のお世話になりました。今年は牧陵会大阪で9月17日に開催しますが、我々も75歳の老齢ですので、牧陵会の今後の運営について、企画を討議する事になります。神戸人会の皆様お体には十分に注意して、会には出席していただき同窓の発展のためにご協力をお願いします。

(高尾友之 記)

専28回

函専28回(にはち会)も、志築、瀧井、鎌田の三君があいついで逝ったあと、少し意気消沈の形でした。が、来る10月14日(土)久し振りのクラス会を開催する予定です。

それぞれの人生を歩んできましたが、まだまだの気概だけは十分の様です。川西のヒゲ男、

今井章君が学歌に大声を発しているうちは「にはち」も元気のようにです。

(橋川 司 記)

## 専32回

### 兵庫県三二会に栄光あれ

今回我々大歯大三二会は去る7月1日(土)に舞子ピラ神戸にて第47回全国同窓会総会を開催いたしました。

まず兵庫県三二会の諸兄姉には色々企画準備にと多大のご協力をいただき、本当に有り難うございました。おかげさまですべて盛会裡に終了し全国各地より感謝のことば、好評をいただいております。

当日は来賓の兵庫県歯科医師会会長中塚裕先生(同級)をはじめ全国三二会会長上田実君、渡部潔君、今井政一君、木村慎一郎君とそれぞれあいさつをいただき、住井鐵造君、吉崎文彦君、藤岡幸雄君の叙勲祝いと進行をすすめ、懇親会に入りました。宴席では大正、昭和と年齢に関係なく久し振りにお互い学生時代にもどり、大いにやんちゃくれ振りを発揮し楽しく過ごしました。特筆すべきは我が三二会の誇る多くの芸術家達(ピアノ・吉岡仁司君、フルー

ト・崎田道隆君、ソプラノ・橋爪洋子君、シャソン・仲田重忠君)が心の若さを目の当たりに見せてくれ、20世紀最後にふさわしい最高の雰囲気となりました。

“我が三二会はまだまだ益々元気です”

今回240名に案内を差し上げたところ、欠席者は100数名、出席者70名近くと近來にない多くの集まりでした。欠席者の大半は心身の故障、または配偶者を含む家族の看病とあり健康であることの有り難さをしみじみ感じた次第です。今更ながらかつて恩師である故白数美輝雄学長の“行雲悠々”のことばが甦ってきます。

私だけかも知れないけれど70歳になった近頃、ともすれば青春時代に思い描いた夢と成し遂げ得たことの落差の大きさ、残された時間の少なさを考えて落ち込むことがあります。こんな時、新たな人生の挑戦としてグラスの中の半分のワインをみて“もう半分しか残っていない”でなく“もう半分残っている”と中味のワインには変わらないのだから行き過ぎた悲観主義的パシミストよりニコリと建設的なアプティミストでありたいと願っています。

来年は卒後50周年です。皆さん、毎日を感謝して「年齢相応」でなく「自分相応」にと無理をせず背筋をしっかりと伸ばして仲良く進んでいきましょう。



専32回



近々、兵庫県三二会連絡網を整備する予定です。またご協力下さい。

(藤本和夫 記)

## 大5回

大阪歯科大学同窓の皆さん、お元気ですか。私達は昭和26年に大学へ入学して以来、学友として、半世紀の時が流れ、一年に一回総会を開き、会員の福祉と相互の親睦を深めてまいりました。

本年度は20世紀最後の総会として、初めて一泊二日の総会日程で、平成12年5月20日(土)21日(日)、瀬戸内海国立自然公園の中にある、兵庫県歯科医師健保組合が管理経営している、播州赤穂保養所“貴和荘”で、兵庫県同窓会本部より嘉之海昭吾先生、大五会代表幹事新田賢先生、講師として中西玄禮先生を招き、開催いたしました。

総会のあと、懇親会に移り、姫路市網干区在住、大覚寺42代住職中西玄禮布教師の講話を聞きました。

講話の内容は、水五訓という教えを解りやすく説明されました。

- (1) 自ら活動して他を動かしむるは水なり  
(人を動かそうとするなら、まず自ら動け。)
- (2) 常におのれの進路を求めてやまざるは、水なり  
(自分が今、ここで何をすべきか、常に前向きに対処すると自然に道が開けてくる。)
- (3) 障害にあつて、激しくその勢力を百倍しうるは水なり  
(人間の能力は、困難に遭遇した時は、逃げないで目の障害を一つずつ越えてゆくことによって、さらに伸びてゆく可能性を求めている。)
- (4) 自ら潔うして汚濁を洗い清濁あわ容るる量あるは水なり  
(生まれつき清廉で、高潔な人物は、めつ

たに在るものでない。マイナスの面もあれば性格的に弱いところや、悪いところもある。それらを大きく包みこむ器量が必要である。)

- (5) 洋々として大海をみたし、発しては霧となり、雨雪と変じ霰と化す。凍つては、玲瓏たる鏡となり、しかも性を失わざるは水なり

(自分が今置かれている立場をよく認識し、今ここで、自分がなすべきはなにか、いつもどこでも、今、自分が立っているところで、一瞬一瞬を大切にしながら生きていければ、『真実の人生』といえる。)

これからの人生、水のように清らかに、爽やかに生きたいと願った私達である。

追伸

第33回大五会全国大会が本年度は、和歌山白浜“ホテル川久”で開催します。

日時 平成12年11月18日(土)

11月19日(日)一泊二日

現在、予備登録者は53名、本登録の締切は10月10日(火)まで、奮ってご参加下さい。

(牧野脊三 記)

## 大13回 兵庫登美栄会

昭和15年生まれの私達も、いつの間にか無事に還暦を迎えました。

歯科医療を通して人々の健康のお世話をさせていただき、先生と呼ばれるたびに、私達を一人前の歯科医師として世に送り出してくれた母校に更なる感謝をする次第であります。

昭和40年、鈴木善孝厚生大臣交付の歯科医師免許証を手にした当時はまだ医師不足の時代で、診療所の玄関先は患者さんの履き物があふれていました。

歯科大も牧野から天満橋に移転し、教職員も学生も将来に大きな希望と目的をもって励んでいた時代でありました。

くしくも、この度樟葉に新学舎が完成したの

を機会に、旧校の更なる発展を期待するもの  
あります。

9月23～24日兵庫登美栄会で美朝方面にバス  
旅行を致しました。

もう昔ほど呑めんわと言っていた連中もバス  
が動き出すや、シュツという缶の音、ポンとピ  
ンの栓の抜かれる音、大きな声が飛び交い、一  
瞬の内に学生時代にもどり、まだまだ元気で  
す。体も心もすっかりリフレッシュして参りま  
した。

これからも、日々新たに、健康と友情を大切  
に頑張っていきたいと思っています。

(山崎 宏 記)

#### 大16回 天章会

平成12年度は兵庫県が受け持つことになり、  
兵庫天章会役員および天章会会長岡田太郎、副  
会長志水三郎、会計佐本高明、幹事浜田邦夫各  
君と開催場所の検討をし、「ジャパンフローラ  
2000」開催中の「花のある淡路」の案があが  
り、淡路の吉田統司、天羽 峻、高津匡雄各君  
のお世話により平成12年9月2日(土)～3日  
(日)に淡路島洲本温泉、「ホテルニューアワ  
ジ」での開催を決定しました。総会当日は淡路



大13回

まで大型バスを予約し遠方の方々を新神戸とJ  
R三ノ宮で迎え、67名の参加で、5時から総会  
が「コンベンションホールベイサイド」で司会  
の日野哲雄君の第一声で始まり、開会の辞、鶴  
見敬三君、天章会会長岡田太郎君のあいさつの  
後、議長に大川幸矩君が選ばれ(1)庶務報告  
上田雅俊(2)会計報告 佐本高明(3)監査  
報告 田隅昭宏君の各報告があり、議事に入り  
ました。(1)会則改正の件(2)役員改選の件  
(3)次期開催地の件(4)その他、無事承認  
され、次期開催地、奈良県西田 健君の挨拶の  
あと、堀井宏雄君から来年大歯90周年記念式典  
が京都で開催されますので多数の参加の願い  
と閉会の辞で無事終了しました。



大16回 天章会

総会後集合写真を撮り、懇親会が「鳳凰の間」にて6時から開宴しました。司会浜田邦夫君、志水三郎君の開会の辞で始まり、岡田太郎君の力強いあいさつと兵庫県地域役員の田村忠昭君の集会のお礼があった。大阪歯科大学同窓会副会長・兵庫県同窓会会長中塚裕先生、大阪歯科大学同窓会淡路分会分会長糸田英俊先生のご祝辞をいただき、大阪歯科大学兵庫県同窓会専務理事橋本猛伸先生の乾杯のご発声で祝宴が始まり、アトラクション三熊踊りで盛り上がりました。学歌斉唱を野村俊勝君に音頭を取っていただき久し振りに合唱しました。閉会の辞を吉田統司君にいただき、その後カトレアで二次会、カラオケで発散したり各々部屋で近況を話し合ったり、何時の間にか夜が更けていました。

総会翌日、9月3日は絶好のゴルフ日和で洲本ゴルフクラブで朝8時スタート、23名参加のもとコンペを行いました。好プレー、珍プレー多数続出、和気あいあい楽しみプレー後ミーティング、小宴ではゴルフ談義に盛り上がりました。なお成績は新ペリア方式により1位大川幸短、2位垣口新二、3位田中修司、B B佐本高明君の表彰式を行い、次回奈良での再会を約束し、午後4時帰路に着き、無事天章会を終えることが出来ました。

(田村忠昭 記)

## 大17回 つつな会

つつな会兵庫県支部同窓会総会は、寺延治県立淡路病院歯科口腔外科部長のお世話により、淡路国際ホテルアレックスで7月1日(土)午後6時から開催された。当日は14人のつつな会会員が出席し、議事等を審議をしたあと、新鮮な淡路の海の幸に舌鼓を打ち旧交を温めた。

総会は、青木会長のあいさつ、住谷専務の会務、太田常務の会計各報告のあと議事に移り、平成11年度決算、平成12年度予算を承認した。

続いて役員改選の件では現青木会長に続投の声が多く、青木会長もこれを快く受け、次期会

長就任となった。

協議事項では、兵庫県支部会名簿の発行と連絡網の見直しを決定した。

翌日は非常に厳しい暑さの中、二日酔いと寝不足の体にムチを打って、全員無事ラウンドを終えた。

なお、平成12年に入って下記3人の会員が亡くなりました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

平成12年2月20日 城谷 貴文

平成12年4月8日 中村 保子

平成12年8月2日 北村攝津子

(敬称略)

## 城谷貴文君を偲んで

城谷君は昭和44年卒業と同年に兵庫区東山町で医院を開設され、お母様が受付を担当し、その名コンビは区内でも有名でした。その後、昭和46年に志賀君が、昭和48年に北村君と私が入会し、同級生4人が何かにつけて助け合っていました。

特に彼は診療のかたわら、東京歯科大学法歯学教室で勉強を続けておられ、兵庫県警察歯科医会設立と同時に兵庫区歯科医師会から出務され、その豊富な知識をいかんなく発揮されました。

平成になり、お母様が体調を崩されてからは休診し看病につくされましたが、そのかいかも無くご逝去されてしまいました。その後一向に診療を再開する様子もないので、電話をすると「毎日ぶらぶらしているが、元気にしている」との話し、診療を始める気持ちはまったく無いようなので、「診療しないなら、勉強されている法歯学を続けては」と話しても、もうひとつはっきりした返事もされませんでした。その後こちらも忙しさにかまけて連絡がとどえていたところに突然の訃報が入り、その驚きは筆舌にはつくせませんでした。もう少し相談相手になってあげられたらと悔やむばかりです。

ご親族の方にお聞きしたところでは、一人暮らしで生活も不摂生気味で、体調に異常を感じていても、ついつい引き延ばしていたようで、受診された時はもう手のつくしよがなかつた

ようです。

まだまだこれからが花だという年齢なのに誠に残念としか言いようがありません。

ご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

(奥田 健 記)



北村攝津子さん

北村攝津子さんを偲んで

平成12年8月2日55歳という若さで北村攝津子さんが帰らぬ人となりました。あまりに突然のことで、長女の弥生さんから「母が昨夜11時過ぎに亡くなりました」との知らせは信じられませんでした。お通夜の出棺前に一目お会いしたいと、三人(山口・武田・私)でご自宅にお悔やみに参りました。その薄化粧された顔はふっくらと、優しく微笑んで今にも何か話しかけてきそうと思わず、「北村さん」と声をかけましたが返事はありません。涙があふれてしまいました。

あれは5月の初め頃、何気なくかけた電話で「最近体の調子が良くないのよ。近くで診察を受けたら神大の附属病院に紹介されているのよ」とのことでした。そこで検査の結果、膵臓癌でした。告知がされ、およそ想像もつかない精神的に辛い時期でした。やがて手術をしないままの入院生活が続き、家族の方の支えもあって「よし、頑張ってみよう」と勇気をだされ日々を送っておられました。私達(小林・新井・武田・山口)も何かお役に立てたら、楽しくお喋りでもできたらとそれぞれ何度かお見舞いに訪れました。お元気そうに見えましたが、それでも「死ぬ時はどんなんやろうね。苦しむんかしらね」とか「長門さん、同窓会報に私のこと書いてね」とか胸がしめつけられるような会話もありました。そのうち8月に入り、亡く

なられたのは病院を変われた直後のことでした。

攝津子さんには長女の弥生さん、長男の聡一君の二人の子供さんがいます。弥生さんはお母さんに花嫁姿を見てもらいたいと、かねてから婚約されていた方と予定を早めて結婚式を挙げ、攝津さんは病院から出席され、その嬉しそうないい笑顔が写真に残っております。聡一君は今年とても難しかった国家試験に見事合格され、今は大歯の研修生として励んでおられます。彼女の一番の心残りで、心配事は彼の将来でした。幸いにも神戸の兵庫区には会長として奥田健さん、中央区には住谷幸雄さん(住谷さんの娘さんが聡一君と同級生)もおられます。虫本さんも「北村さんがそんなに心配していたのなら」と力を貸しておられます。

攝津さんはここ数年、阪神大震災にあい、交通事故でご主人を亡くされ、そのショックを長く引きずっておられました。不運にもまた癌に侵されるというめぐり合わせになってしまいました。本当にお気の毒としか言いようがありません。しかし、生涯を通して仕事を続け、妻として夫婦仲睦まじく暮らされ、母として明るい家庭を築き立派に子供達を育てられたことは、一人の人間として本当にお幸せな一生でした。

生きておれば悩みは尽きません。その悩みからも全てから開放された今、どうぞご主人のもとでゆっくりにお眠り下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

合 掌

(長門久代 記)

## 大18回 とわ会

### 30周年の報告

とわ会兵庫支部の皆様方、いかがお過ごしでしょうか。病氣療養中の内海君、栗本君の一日も早い快復をお祈りしています。

さて、8月26日(土)とわ会卒業後30周年の記念式典並びに祝宴が帝国ホテル大阪で盛大に開催されました。全国から会員112名、奥様方14



名、ご来賓10名の計136名の参加を得ましたが、兵庫支部は20名の参加でした。

当日は大歯兵庫同窓会が新神戸オリエンタルホテルで開催されました為に、私達のプログラムの変更を余儀なくされましたが、佐川寛典学長・理事長や村上勝本部同窓会会長が神戸から急いで参加をいただき、錦上花を添えていただきました。

記念式典は東谷君の司会で始まり、開式の辞を矢迫君、式辞をとわ会会長の蓮舎君の格調高いあいさつがあり、来賓祝辞に入りました。奥野喜一大歯同窓会名誉会長が体調をくずされているため、メッセージを代読したあと、日歯の副会長、日歯連盟理事長、大阪府歯科医師会会長の岡邦恭先生よりご祝辞を賜りました。

来賓紹介、記念品贈呈、物故者黙祷、学歌斉唱と続き、北村君の閉式の辞で終了し、すぐ記念撮影を行いました。

その後すぐ祝宴がはじまり、神戸から急ぎよ参加をしていただいた佐川先生、村上先生に続き、乾杯の音頭と学年主任だった三谷卓先生に少し長めの心暖まる話があり、共に歓談が始まりました。

振り返りますと、同窓生というのは面白いもので、永年会ってなくても、再会したとたんに、お互いが30年前にタイムスリップして、青春時代にもどった様な気持ちで、大いに語り、飲み、そして時間のたつのも忘れて、あちこちに歓談の輪ができ、たいへん盛り上がりました。余興では、早押クイズと抽選会に来賓の先生方も交えて全員参加で楽しんでいただきました。

来年は京都で開催される大歯全国同窓会の日程にあわせてとわ会も行う予定ですので、是非多数の参加をお願いしたいとの椿井君の閉会のことばで散会致しました。

翌日は、とわ会親睦でゴルフコンペに23名の参加があり、東広野GCで開催。1位和手、2位中西、3位椿井でBGは神原君の79ストロークでした。

以上30周年の報告をさせていただきましたが、正直なところ、皆いい歳をして老年の仲間

入りをしようという年代にさしかかり、健康であることの有り難さをしみじみと感じさせられた30周年でした。同時に同窓の集まりの中で“まだまだ人生これからや”と力強く、ポジティブに人生の後半戦を生き抜こうとしている勇者もいて感心させられました。

来年のとわ会にも是非お元気な姿で参加していただきたいと思います。

(和手甚京 記)

## 大26回 早蕨会

20世紀も残すところあと僅かになりました。兵庫早蕨会の皆さんは、お元気でお過ごしのことと存じます。あの大震災から、私達の環境が大きく変化して、これから21世紀が始まろうとしています。母校の問題も早く解決して是非、以前のような活力のある同窓会に戻ってほしいものです。

9月2日に早蕨会同窓会が、琵琶湖のほとりにそびえ立つ琵琶湖ホテルで開催されました。来賓に白石宣滋賀県同窓会会長・前滋賀県歯科医師会会長が参加してくださり、同窓会について力強いごあいさつをいただきました。

今回は参加人数は少なかったのですが、幹事の多田君の計らいで、おいしい食事が余るほど出てきました。コンパニオンの方々の気遣いもよく、楽しいひとときを過しました。恒例のビンゴゲームの景品は、特上近江牛で獲得者に後日宅配されました。私のところにも届いて、自分で料理して味わいましたが、あっさりした脂がたっぷりの肉でした。遠方よりの参加は、朝日大学歯学部口腔細菌学講座教授小川君、大分県から毛利君、石川県から岩崎君たちが久しぶりの仲間と、酒を酌み交していました。

楽しいひとときも、あっという間に過ぎてしまいました。2次会は京都の祇園へと2府県にまたがる同窓会となりました。

総会においては、本会の同窓会報の記事は当番県が2年間投稿することが決定致しました。従って今年から2年間は滋賀県が担当します。

年会費を徴収する提案もありましたが、次回に持ち越しとなりました。

和歌山県の内藤君から、早蕨会もインターネットの活用を考えて欲しいとの要望があり、言い出しっぺの内藤君が担当となりました。

次回の開催地及び当番県として、奈良県が決定され、次回の当番県の代表として奈良県県会議員前議長の松井君が、いつもの名調子で挨拶をして会場を沸かしていました。

さすが内藤君です。3日後にホームページを立ち上げていました。アドレスを載せておきますので、ぜひどうぞ。

<http://www1.doc-net.or.jp/~kalcha/26/>

(志築秀和 記)

## 大27回 兵庫飛翔会

平成12年度兵庫飛翔会総会ならびに懇親会が、7月15日におこなわれました。昨年度は卒業20周年にあたり、飛翔会全体の記念式典を開催したため、兵庫県としては2年ぶりの開催と

なっております。

我々大学27回同窓生も、兵庫県歯科医師会をはじめ地元歯科医師会、同窓会など様々な組織において活動の場を得て、何かと忙しく日々を過ごしているようです。その中で多数の同窓生が集まり総会を開催することが出来ました。この場をお借りしまして、皆様のご協力にお礼申し上げます。

当日、総会において会務報告、本部関連報告、会計報告をおこない、議事として、収支決算の承認、会費未納者の取り扱いについて協議いたしました。その後、懇親会に移り、各自の現況、容姿などを話題に盛り上がり、なんと2次会に全員出席のまま移動、時を忘れ楽しい時間を過ごしました。なお、時を完全に忘れた数名は、3次会、4次会と席を変え、明日の反省の糧を作ることは忘れなかったことを報告いたしておきます。

また、出席できなかった方については、返信葉書を皆で回し読み、懐かしみながら酒の肴とさせていただきます。次回総会には会えるものと思っております。



大26回 早蕨会

同じ時期に同じ学舎で学んだ者が、楽しい時間を持ちながら、語り合い親交を深める。「同窓会にどんなメリットがあるか」などと聞かれても、こんな1日を過ごしてしまうと、もうやめられません。来年も、出来るだけ多くの方との時間を共有できることを望んでおります。

(藤津昌績 記)

## 大28回 庚申会兵庫県支部

庚申会の皆様お元気ですか。20周年記念大会を無事終えて、念願の二十周年記念誌も長谷君を中心として精一杯やっていたいただいたお陰で大変立派な記念誌ができたことと喜んでおります。

これも庚申会会員一人一人の協力の賜物と思います。記念誌の印刷は、ご存知の通り、兵衛広報の印刷所である日昌印刷に頼みました。一枚一枚写真を色合わせしていただいて大変美しい記念写真集となりました。製本は、日本に4台しかない機械にかけて山口県でしていただいたと聞いております。とても一部一万円でできたものではございませんのに、長谷君の熱意と集まる原稿の多さに印刷所の方が感心され、力を入れて完成していただいた結果であります。

電話の横に置いて、写真をみながら電話されてはいかがでしょうか。

さて、昨年暮れに久々に忘年会をやりましょうかと声があがると、年末のために場所がとれなかったので、それじゃ新年会にしようということでシンミチビルディング301(東急ハンズの横)家庭四季料理「辨天」で、温かい鍋物を囲んで、幸田、安田、西藤、西村、松田、堀内、中塚、久井、大野(良)、米田、田中(武)、永谷等々約15名の同級生が、大人しく食事をしました。というのは正反対で、皆さん、何のストレスがたまっているのか知りませんが、無茶苦茶飲むは、食べるは、しゃべりまくるは、信じられないくらいの音(会話)、どうなっているんだとポーっとしてしていると時間が

経ってしまって、記念写真を私のデジカメで何枚も撮りましたが…、残念ながら写っていませんでした。(ゴメンナサイ)

そんなわけでほとんど全員で二次会へ行きました。「千珠」だったと思います。それからは、よく分かりませんが、西藤君と寿司屋にいったことは覚えています。久しぶりに、同窓会報に取り留めもないことを書きましたが、この取り留めもない会を、開くということは、みんなのストレス解消になるということは間違いのない様でした。

来年は、秋頃兵庫県担当で、庚申会の全国大会を開く予定にしております。兵庫県の庚申会の皆様にご協力をお願いすることになります。が、お忙しいとは思いますが、何卒宜しくお願い致します。

来年の新年会も出来たらずひやりたいと思いますので、万障繰り合わせの上ご参集下さいませよう重ねてお願い申し上げます。

兵庫県で全国大会を開催いたしますのは、あの震災の2年前1993年ハーバーランド以来丸々8年振りのことです。あの震災から、はや6年が過ぎ去りました。県の報告では死者数6,400、行方不明数3、負傷者数40,092(重症8,593、軽傷者31,499)家屋被害(全壊、全焼、半壊、半焼)世帯数446,539、棟数248,410、被害総額約10兆円(H7.4.5推計)失ったものは、あまりにも大きく筆舌に尽くすことはできませんが、やっと全国の庚申会会員を受けようというところまで庚申会も来れたということをお大変うれしく思います。皆様に重ねてご出席をお願い申し上げます。

(永谷 敏 記)

**お知らせ**

昨年、ご配布いたしました会員名簿につきまして、下記先生方の記載内容が誤っております。

お詫び申し上げますとともに、ご訂正いただきますようよろしくお願いいたします。

正 誤 表

104頁 西神戸医療センター

岩城 太先生の住所の訂正

(誤) 653-0805 神戸市長田区片山町2-12-10 TEL 078-691-2889

(正) 651-2243 神戸市西区井吹台西町1丁目3-1407 TEL 078-997-7303


88頁 追加

牧野脊三先生の下に

牧野容子 671-0232 御国野町御着319-1 TEL 0792-52-0058

” 671-0232 (御国野町御着316-14) (TEL 0792-53-7022) 大38





平成12年11月1日

発行所 **大阪歯科大学兵庫県同窓会**

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人 橋本猛伸

